

# 村松茂美教授 略歴・業績

## 略歴

1950年 静岡県掛川市生  
1974年 横浜国立大学経済学部卒業  
1976年 一橋大学大学院経済学研究科修士課程修了  
1980年 一橋大学大学院経済学研究科博士課程単位取得退学  
1980年 熊本商科大学経済学部講師  
1984年 熊本商科大学経済学部助教授  
1987年～1988年 エディンバラ大学 留学  
1990年 熊本商科大学経済学部教授  
1994年 熊本学園大学経済学部教授（大学名改称による）  
2020年 熊本学園大学定年退職、同大学経済学部シニア客員教授  
2023年 3月末日 シニア客員教授任期満了

## 所属学会

1979年～ 日本18世紀学会  
1979年～ 経済学史学会  
1986年～ 日本イギリス哲学会  
1987年～ 社会思想史学会

## 研究業績

### 1 著書

〈単著〉

2013年 『ブリテン問題とヨーロッパ連邦—フレッチャーと初期啓蒙』（京都大学学術出版会）

〈共編著〉

2005年 『はじめて学ぶ西洋思想—思想家たちとの対話』（ミネルヴァ書房）

## 2 論文等

- 1977年 「スミス研究の一断面」『経済評論』2(日本評論社 1977年 11月)
- 1978年 「ふたつのスミス像をめぐって—研究史の整理と展望」『一橋研究』第40号
- 1980年 「アダム・スミスにおける服従の原理 経済論との関連において」(『エコノミア』(横浜国立大学)第66号)
- 1983年 「『天文学史』と『国富論』の方法：想像力と経済学の展開」『熊本商大論集』30(2)  
「『国富論』第三編の一考察」『熊本商大論集』29(3)
- 1985年 「スミスにおける哲学的探究とアナロジー：『天文学史』を中心に」『熊本商大論集』(第31巻1.2合併号)
- 1989年 「18世紀中葉エディンバラ都市改造計画」『熊本商大論集』第35巻第3号  
「アンドリュー・フレッチャーとその民兵論」『熊本商大論集』第36巻第1号
- 1990年 「A. フレッチャー『対話』の一考察—「農業主義」と共和主義的政体—」『熊本商大論集』第37巻第1号
- 1991年 「A・フレッチャーと合邦期スコットランド」『熊本商大論集』第37巻第3号
- 1993年 「W・シートン『スコットランド国益』三論」について」『熊本商大論集』第39巻第2号
- 1994年 「萌芽期の群像—ペティ, ロック, ヒューム, ステュアート—」(中村廣治編『市場経済の思想像』九州大学出版会)
- 1995年 「18世紀スコットランドにおける国民的アイデンティティの変容(1)—Colin Kiddの所説の紹介を中心に—」『熊本学園大学経済論集』1(3・4合併)
- 1996年 'Some types of National Interest in the Anglo-Scottish Union of 1707', *Journal of Economics*, Kumamoto Gakuen University 3.
- 1997年 「世界君主制の思想史ノート：「合邦問題」のひとつの歴史的文脈」『熊本学園大学経済論集』第4巻 第1・2号
- 1998年 「合邦期イギリスにおける世界君主制論」『九州経済学会年報』第36集
- 2000年 「合邦期スコットランドにおける政治算術と経済発展構想」『熊本学園大学経済学部開設30周年記念』  
「市場社会へのヴィジョン」(中村廣治・高哲男編著『市場と反市場の経済思想—経済学の史的再構成』(ミネルヴァ書房))
- 2001年 「スコットランド啓蒙前夜の歴史叙述と国制論」『熊本学園大学経済論集』第7巻
- 2003年 'Andrew Fletcher's criticism of commercial civilization and his plan for European federal union' in Sakamoto and Tanaka (eds.), *The Rise of political Economy in the Scottish Enlightenment* (Routledge).

- 2004年 「フレッチャーとデフォー：「常備軍論争」を中心に一」（小柳公洋・岡村東洋光編『イギリス経済思想史』（ナカニシヤ出版）
- 2005年 「A. フレッチャーにおける「奢侈」と「貧困」—外国貿易、家内奴隷制、農業改革」『熊本学園大学経済論集』第12巻、第1・2合併号
- 2011年 「フレッチャーにおける「国民的政治共同体」と国際世界—「ダウナント的慎慮」から「新たな市民的美徳」へ」佐々木武・田中秀夫編著『啓蒙と社会—文明観の変容』京都大学学術出版会
- 2012年 「〈合邦〉から〈啓蒙〉へ—洗練と産業の都市—」『熊本学園大学経済論集』第19巻第1・2合併号
- 2017年 第1回経済学史学会賞受賞（受賞作、『ブリテン問題とヨーロッパ連邦』）

## 事典項目

- 2007年 「グレート・ブリテン王国」日本イギリス哲学会編『イギリス哲学・思想事典』（研究社）
- 2019年 「民兵論争」（社会思想史学会編『社会思想史事典』（丸善出版）

## 書評

- 2002年 Thomas Munck, *The Enlightenment : A Comparative Social History 1721-1794* 『日本18世紀学会年報』第17号
- 2007年 John Robertson, *The Case for The Enlightenment*. 『日本18世紀学会年報』第22号
- 2010年 田中秀夫編著『啓蒙のエピステーメーと経済学の生誕』経済学史学会編『経済学史研究』
- 2013年 塩谷清人『ダニエル・デフォーの世界』イギリス哲学会編『イギリス哲学研究』第36号

## 学会報告

- 1990年 「A. フレッチャーと合邦期スコットランド」経済学史学会 第54回全国大会
- 1995年 'Some types of National Interest in the Anglo-Scottish Union of 1707'  
The Eighteenth-Century Scottish Studies Society (Aberdeen)
- 2001年 「合邦期スコットランドにおけるナショナル・アイデンティティ」  
日本イギリス哲学会 第25回 研究大会  
「フレッチャーにおける合邦と経済発展」 経済学史学会西南部第91回例会
- 2005年 「ダリエン計画」とフレッチャー」 日本イギリス哲学会 九州部会 第23回 研究会  
例会
- 2007年 「合邦問題と A. フレッチャー」 近世イギリス史研究会
- 2008年 「合邦期スコットランドの思想的諸問題」「ヒュームとスミスの会」例会

- 2013年 「商業文明とコモンウェルスーフレッチャーとトランドー」経済学史学会西南部会  
第 116 回例会
- 2014年 「合邦問題とヨーロッパ連邦ーA. フレッチャーのコモンウェルス論ー」日本イギリス  
哲学会 第 38 回 研究大会
- 2019年 招待講演「スコットランド、ブリテン、ヨーロッパーA. フレッチャーの危機認識ー」  
経済学史学会 第 83 回全国大会